

令和7年度 立命館アジア太平洋大学（APU）学生との交流

目的

県内の児童生徒がAPU学生と直接またはオンラインで交流する機会を設けることにより、各学校の言語活動の充実を図るとともに、児童生徒の英語に対する学習意欲を喚起する。

実績

実施期間	6/9-1/22	申込件数	39件	校種別件数	小学校27件、中学校12件
実施方式	派遣38、オンライン1	参加学生数	104名		
学生の国籍	ネパール、タイ、ベトナム、バングラデッシュ、ミャンマー、インドネシア、韓国、カザフスタン、ロシア 等				

交流事例報告

日田市立大山小学校(11/27)



自分のことや学校、地域について紹介し、ゲームや折り紙等を楽しみました。



学習した英語を使って、大山町のお店をAPU学生に紹介しました。



APU学生といっしょに豆田町を散策しながら、日常会話を楽しみました。

大分豊府中学校(12/19)



県内のお勧めツアーを紹介と共に、地域の課題解決のアイデアも伝えました。



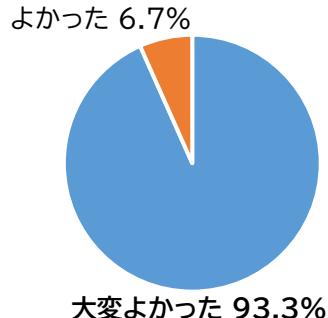
APU学生からの質問に、グループで協力しながら、回答しました。



APU学生から出身国カザフスタンについての紹介を興味深く聞きました。

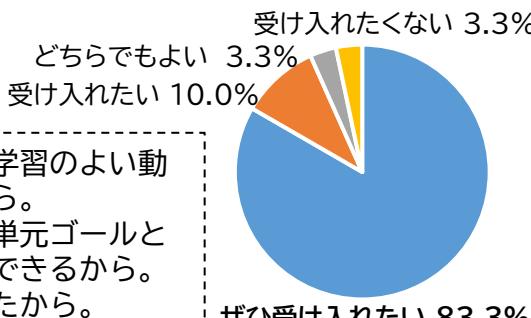
学校の声

APU交流を受け入れた感想



- 児童が「自分の英語を理解してくれた」と達成感を感じることができた。
- 学生が積極的に子どもたちとコミュニケーションをとってくれた。
- 流暢に日本語を使う学生を見て、外国語学習への関心が高まった。
- 違う文化について知る機会となつた。

APU学生を今後も受け入れたいと思いますか



- 児童にとって、外国語学習のよい動機づけになっていたから。
- 相手意識を明確にした単元ゴールとして位置づけることができるから。
- ▲連絡・調整が大変だったから。